

市町村プラットフォーム設置状況調査(令和3年3月末日現在)

厚生労働省の依頼により健康福祉部地域福祉課において全市町村を対象に実施し、全市町村から回答あり。

(1) 市町村プラットフォームの設置状況

回答	市町村数
令和2年度までに設置済	30
令和3年度に設置予定	14
その他	33
計	77

(2) 設置済の市町村のうち会議体の有無

回答	市町村数
会議体あり	11
会議体なし	19

(3) 設置会議体の種類

回答	市町村数
既存の会議を活用	9
新設	2

【内訳】市町村プラットフォーム設置済又は設置予定の市町村

(1) 令和3年3月までに設置済(30市町村)

松本市、諏訪市、須坂市、駒ケ根市、大田市、塩尻市、安曇野市

軽井沢町、御代田町、富士見町、南箕輪村、高森町、阿南町、売木村、天龍村、豊丘村、木祖村、王滝村、大桑村、麻績村、生坂村、山形村、筑北村、池田町、坂城町、小布施町、山ノ内町、木島平村、信濃町、栄村

(2) 令和3年度までに設置予定(14市)

長野市、上田市、岡谷市、飯田市、小諸市、茅野市、東御市

南相木村、北相木村、辰野町、下條村、喬木村、大鹿村、飯綱町

＜会議体の名称 自由記載(抜粋)＞

- 民生委員・児童委員協議会(下條村、天龍村)
- ひきこもり支援事業関係機関連携会議(安曇野市)
- まいさぼ定例会(小布施町、坂城町)
- 生活困窮者自立支援事業支援会議(岡谷市)
- 支援調整会議(諏訪市)
- ケア会議(売木村)
- ケース進行会議(山ノ内町)
- ひきこもり対策連絡会議【新設】(長野市)
- 自殺予防対策連絡会議ひきこもり対策部会【新設】(須坂市)

(2) 令和3年度中の市町村プラットフォームの設置が困難な理由(複数回答)

回答	市町村数
市町村PFの理解が不足	23
マンパワー不足	23
ひきこもり支援が進んでいない	14
市町村単独での設置は困難	10
関係機関との調整に時間が掛かる	8
令和4年度中に設置見込み	6
分野横断的なPFの設置を検討中	4
その他	4

<「その他」自由記載>

○可能であれば令和3年度中の設置も検討しているが、新型コロナワクチン接種の所管課のため現実的には無理かと判断している。

○現状、ひきこもりについて生活就労支援センターから提供される情報や、生活保護受給の過程でといった限られたルートから明らかになっているが、当町は小規模の市町村であるため、現在把握し、対応しているケース数が実態に近い可能性もあり、改めて設置が進まない面もある。

○対象者の年齢で部局が分かれるため担当部局は特に決まっていないが、必要に応じ部局、関係機関間で連絡を取り合い対応しているため、別途プラットフォームを立ち上げる予定はない。

○既存の会議体が活用できるか、今年度中に検討予定。活用可能であれば、今年度中の設置予定。活用不可であれば、改めて令和4年度の設置に向けて検討をしていく予定。

(3)市町村プラットフォームの構成機関（複数回答）

回 答	市町村数	回 答	市町村数
社協	25	ハローワーク	8
民生委員・児童委員	19	サポステ	5
地域包括支援センター	19	精神保健福祉センター	4
学校、教育機関	16	警察署	4
保健所	14	地域の企業・商店・広告媒体等	3
自立支援機関	14	福祉事務所	2
社会福祉法人、NPO法人	12	市町村内の関係各課	2
就労準備支援機関	12	当事者会、家族会	1